

2024年度 第2回治験審査委員会 会議の記録の概要

開催日時	2024年5月8日(水) 16:30~17:30
開催場所	3階 会議室
出席委員名	長 和俊、長井 桂、多田 真之介、丸山 紀子、山我 健、鈴木 千春、正村 裕紀、加藤 はるか、鈴木 真佐也、岡安 美樹、高橋 知宏、小林 歩

議論及び審議結果を含む主な議論の概要

【審議事項】

議題 1	ノボ ノルディスク ファーマ(株)の依頼によるアルコール性肝障害患者におけるNNC0194-0499単独療法、cagrilintide単独療法、セマグルチド単独療法又はこれらの併用療法の肝障害及び飲酒に対する効果
	依頼者、治験責任医師から報告された下記内容に基づき、新規治験実施の可否について審議した。 ・治験依頼書(2024年4月22日) ・初回審議資料 審議結果:承認
議題 2	興和株式会社(治験国内管理人)の依頼によるK-808(ペマフィブラート)の第II相試験
	依頼者から報告された下記内容に基づき、治験継続の妥当性について審議した。 ・安全性情報に関する報告書(2024年3月27日) 審議結果:承認
議題 3	興和(株)の依頼によるK-001(ペマフィブラートとトログリフロジンの併用療法)の第II相試験
	依頼者から報告された下記内容に基づき、治験継続の妥当性について審議した。 ・安全性情報に関する報告書(2024年3月27日) ・治験に関する変更申請書(2024年4月18日) 審議結果:承認
議題 4	ブリistol・マイヤーズ スクイブ(株)依頼による A PHASE 2/3, MULTICENTER, RANDOMIZED, DOUBLE-BLIND, PLACEBO-CONTROLLED STUDY OF ORAL OZANIMOD TO EVALUATE EFFICACY AND LONG-TERM SAFETY IN JAPANESE SUBJECTS WITH MODERATELY TO SEVERELY ACTIVE ULCERATIVE COLITIS 日本人の中等症又は重症の活動性潰瘍性大腸炎患者を対象としてOZANIMODを経口投与したときの有効性及び長期安全性を評価する第2/3相多施設共同ランダム化二重盲検プラセボ対照試験
	依頼者から報告された下記内容に基づき、治験継続の妥当性について審議した。 ・安全性情報に関する報告書(2024年3月29日、2024年4月12日) 審議結果:承認
議題 5	ノボ ノルディスク ファーマ(株)の依頼による非アルコール性脂肪肝炎患者を対象としたNN9535の第III相試験
	依頼者から報告された下記内容に基づき、治験継続の妥当性について審議した。 ・安全性情報等に関する報告書(2024年4月4日、2024年4月18日) 審議結果:承認
議題 6	(治験国内管理人)IQVIAサービシーズジャパン株式会社(株)依頼による A randomized, double-blind, placebo-controlled, multicenter phase III study to evaluate the efficacy and safety of ABX464 once daily for induction treatment in subjects with moderately to severely active ulcerative colitis 中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、導入療法としてABX464を1日1回投与した際の有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同、第III相試験
	依頼者から報告された下記内容に基づき、治験継続の妥当性について審議した。 ・安全性情報等に関する報告書(2024年4月1日、2024年4月16日) 審議結果:承認
議題 7	(治験国内管理人)IQVIAサービシーズジャパン株式会社(株)依頼による A randomized, double-blind, multicenter phase III study to evaluate the long-term efficacy and safety of ABX464 25 mg or 50 mg once daily as a maintenance therapy in subjects with moderately to severely active ulcerative colitis. 中等度から重度の活動性を有する潰瘍性大腸炎患者を対象に、維持療法としてABX464 25 mg又は50 mgを1日1回投与した際の長期有効性及び安全性を評価するランダム化、二重盲検、多施設共同、第III相試験
	依頼者から報告された下記内容に基づき、治験継続の妥当性について審議した。 ・安全性情報等に関する報告書(2024年4月1日、2024年4月16日) 審議結果:承認
議題 8	グラクソ・スミスクライン(株)の依頼によるB型肝炎ウイルス持続感染患者を対象としたGSK3228836の第III相試験
	依頼者から報告された下記内容に基づき、治験継続の妥当性について審議した。 ・安全性情報等に関する報告書(2024年3月29日) 審議結果:承認(*小林委員は当該治験に関与するため審議及び採決に不参加)
議題 9	日本イーライリリー(株)の依頼によるLY3819469の第III相試験
	依頼者から報告された下記内容に基づき、治験継続の妥当性について審議した。 ・治験に関する変更申請書(2024年4月22日) 審議結果:承認

【報告事項】

課題名	概要
(治験国内管理人)パレクセル・インターナショナル(株)依頼による遺伝子リスクファクターを有する非アルコール性脂肪性肝炎(NASH)患者に対するSIRNA 遺伝子サイレンシング治療を検討する無作為化、二重盲検、プラセボ対照第二相試験	治験終了報告書(2024年4月24日)